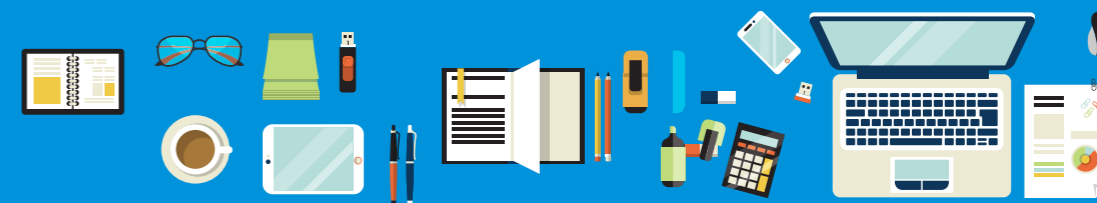




留学するなら早稲田のプログラム!

早稲田大学の留学の特長やサポートについてご紹介します。



Waseda Global Gate (WGG) で情報収集

早稲田キャンパス 22号館 1階にある WGG は、留学センターが運営する、みなさんが個別相談や情報収集をするためのスペースです。

早稲田大学の留学制度や留学への応募方法に詳しい常駐スタッフが丁寧に相談に乗ります。Web サイト上でご予約のうえ、お越しください!

基本的に学期期間中の平日は毎日開室していますが、詳しくは留学センター Web サイトにて確認してください。



留学センターが出願のサポートをします!

海外の大学への出願手続きはしたことがなく不安だ、というみなさんがほとんどだと思います。確かに、多様な手続きには皆さんの主体的な準備が不可欠です。留学センターでは出願や現地での宿舎(学生寮やホームステイ)の申請といったみなさんの手続きをサポートしますので、安心して応募してください。その他、日常的にみなさんからの問合せ対応や、出発前のオリエンテーション等を通じて、みなさんに必要な情報をタイムリーに発信するよう心掛けています。



(早稲田大学留学センターWebサイト)



留学センターが提供する語学講座で、語学力向上をめざしましょう!

留学センターでは留学準備講座として以下の講座を開催しています。比較的安価に提供していますのでぜひご参加ください(全てオンラインでの開催を予定しています)!

①TOEFL iBT 対策講座: 主に中長期留学をめざす学生向けの講座です。本講座を受講し、目標大学のスコアをクリアしましょう! ②アカデミック英語講座: 留学決定後、渡航前のスケジュールに合わせて初級から最上級までの4クラスを用意しています。③IELTS 対策講座: IELTS のスコアを伸ばしたい方向けの講座です。



(早稲田からの留学について)



(留学準備講座)

詳細はこちらから→

学生留学アドバイザーが活躍しています!

留学センターには、留学から帰国した学生で構成される「学生留学アドバイザー」という団体があります。年間を通して様々なイベントや個別相談を実施しており、後輩学生のための留学促進活動をおこなっています。実際に海外留学を経験したアドバイザーたちの情報はとても役に立つはずですので、ぜひアドバイザーのイベントや個別相談を利用して交流・情報収集をしてください。



安心の危機管理体制で留学生生活をサポートします!

海外での生活は盗難等の予期せぬトラブルが起こったり、慣れない文化・生活習慣の環境下で病気になったり、不安になったりと様々なことが起こります。

早稲田大学の留学プログラムにて海外留学をする場合、参加者は大学指定の海外旅行保険に必ず加入します。さらに、病気の際の病院紹介や、所持品が盗難に遭った場合の対処、さらには生活上の相談まで、早大生専用のサポートデスクが 24 時間 365 日体制でみなさんの留学をサポートします。また、地震などの災害や大きな事故・事件の発生時には個別に安否確認を実施するなど、状況に応じた対応を行っています。

世界に広がるネットワークが魅力! 約500 のプログラムから選べます

とにかく選択肢が多いのが早稲田の留学の特長です。早稲田大学の海外ネットワークは、日本の大学の中では群を抜いて充実しており、2~8 週間ほどの語学研修や文化体験プログラムから海外大学の学位を 1~2 年かけて取得するダブルディグリープログラム、教養重視の少人数制クラスのリベラルアーツカレッジ、早稲田のような大規模大学、世界に名立たる名門大学への交換留学まで、とても多彩なプログラムが整備されています。きっとみなさんのニーズにマッチしたプログラムを見つけることができ、早大生だからこそできる留学がたくさんあります。



X (旧Twitter) などで最新情報を公開中!

SNS を通じて、学生の体験談や、イベントに関する情報を提供していますので、みなさんのスマートフォンからお気軽にチェックしてください。役立つ情報があったら、いいね! やシェアをしてください!

早稲田大学 留学センター
YouTube



早稲田大学 留学センター
X (旧Twitter)



海外大学で取得した単位を早稲田大学の単位として認定します

「留学すると卒業が遅れるのでは?」といった不安があるみなさんもきっといると思います。早稲田の留学プログラムにて留学した場合、海外大学で履修した科目の単位を所属の学部・研究科の単位として認定する制度がありますので、多くの学生が 1 年間の留学を経たうえで、学部生の場合は 4 年間で卒業しています。

認定される単位数は所属学部・研究科により異なります。算入されない場合もありますので必ず事前に所属学部・研究科の事務所に確認してください。

